

令和7年度 第3回デジタル地域通貨利用促進委員会会議録

1. 開催日時
令和7年10月31日（金）10時00分～11時10分
2. 開催場所
名取市役所 議会棟 第1・第2委員会室
3. 出席者
宮崎委員長、小平副委員長、熊谷委員、渡部委員、千葉委員、佐藤委員
4. 欠席者
松野委員、赤間委員、小松委員
5. 出席者（委員長要請による出席者）
名取市商工会：高橋主査
㈱NTTカードソリューション：川原崎課長（リモート）
NTT 東日本㈱宮城支店：久保課長、谷平（事務局）
DX推進室 成田室長、新開室長補佐、今野主幹兼係長、伊藤主査
6. 事務局より
 - ・傍聴者の報告及び会議の記録方法の確認
 - ・本委員会は公開対象とし、本日の傍聴者は0名。
7. 宮崎委員長あいさつ
 - ・大型店以外にも使ってもらうにはどうするか意見をいただければと思う。
8. 資料
 - (1) なとりコインの利用実績について …【資料1】
 - (2) なとりコイン利用促進キャンペーンの実施について …【資料2】
 - (3) 利用者向けアンケートの設問の検討について …【資料3】
9. 議事内容のポイント（課題等）
 - (1) 決定事項
 - ・アンケートについて、3の「事業に対する満足度」の最後の設問は「利用しづらい」ではなく「利用しやすい」に変更。全体を「である調」で統一。アンケート項目は本日不参加の委員にもメールで確認を依頼し、次回で確定させる。
 - ・キャンペーン期間に資料1-4が通常と違う傾向があるか分析する。
 - (2) 検討事項
 - ・キャンペーン対象店舗のPR方法は商工会や観光物産協会とも相談しながら検討する。
 - (3) 宿題事項
 - ・市外ユーザーのプレミアム利用分
10. 議事内容
 - ◇なとりコインの利用実績について（事務局）

- ・10月13日時点で登録者数は12,927名である。前年同月比では向上している。30～50代の女性がボリュームゾーンになっている。
- ・チャージ金額は約1億4,960万円であり、紙カード販売の約1億5,500万円を合わせて3億円を超えた。オンライン販売を開始した5月19日の週が約4,914万円で最高のチャージ金額であった。通常チャージは約187万円。
- ・市外ユーザーのチャージ金額は888,795円である。現時点では外貨獲得の効果は上がっていない。
- ・決済金額は約2億9400万円。8月25日の週が最高額。紙カードの2次販売(8/23、24)が重なったと考えられる。
- ・市外ユーザーは約165万円利用。キャンペーンやプレミアムの紙カードの譲渡があったと考えられる。
- ・店舗別、地区別も前回と変わらない状況。スーパーやドラッグストアなどでの決済が多い。
- ・プレミアムは約3,200万円が未使用なので利用を促進するポスターを作成して、加盟店に配布した。

(委員長)

- ・ユーザー数はプレミアムで初めて使った人が他の人に波及していくか。
- ・チャージは今後拡大出来ればと思う。名取市の親が仙台市に住んでいる子に聞いて、そこで市外ユーザーになっている場合もある。仙台と職住近接しているので利用があると考えられる。
- ・決済は前回と変わらない状況。プレミアムの商品券2種類の大型店との割合は？

(事務局)

- ・半々である。

(委員長)

- ・利用状況の割合が分かれば。アンケートでも聞ければ。

(委員)

- ・市外ユーザーは意外に多いのかなと思う。

(委員長)

- ・市外ユーザーのプレミアム分は？

(事務局)

- ・調べれば分かる。

(委員長)

- ・金額の推移も気になる。

(委員)

- ・残金をセット数で割ると1セット当たり650円なので、1,000円ぐらいで買いたいものがあれば使ってもらえるのではないか。逆に5,350円は使っているので元はとったと考える人もいるかも。駆け込み消費に1,000円ぐらいのものを出すと良い。

(委員長)

- ・残金が端数だと新規に1,000円チャージして使うか、そのまま残すか。決済のキャンペーンをして使ってもらったり、新たなチャージをしてもらう手はあったと思う。デジタルだと残せてしまう。

(委員)

- ・返金は？

(事務局)

- ・有効期限内含め、いかなる場合でも返金できない。

(委員長)

- ・返金はできない仕様。換金の問合せが来ないように注意した方がよい。問合せは増えている？

(事務局)

- ・販売直後は使いづらいから返金して欲しいという問合せもあったが断っている。区分の使い分けは従来から行っているので浸透してきている。

◇なとりコイン利用促進キャンペーンの実施について

(事務局)

- ・前回からの変更点は、上限額を1,000円に変更(ナトぼたは500円分のなとりコイン進呈で3,000人の登録があったため)。時期は1/16からとした。地元飲食店等を1店舗含めばよいとした。

(委員長)

- ・還元上限額や開始時期を見直した。店舗が偏らなうようにしたい。スタンプラリー的なものもあれば面白いと思う。

(委員)

- ・PR どうやっていくのか。

(事務局)

- ・チラシはこれから作成する。ポスターやカード型のPRツールも作る。店舗からのSNSでのPRも依頼したい。

(委員長)

- ・商工会のSNSもある？

(商工会 高橋主査)

- ・XとFacebookがあるが、Xを中心に発信している。なとりコインは商工会のHPからのリンクが主なアクセス方法になっている。

(委員長)

- ・名取市はいろいろなSNSがあるので工夫してPRして欲しい。店舗ののぼりなど。

(委員)

- ・共創ラボで飲食店をPRするチームに声をかけてもよい。

(委員長)

- ・閑上など地元の人にも使ってもらえるようになれば良い。

(委員)

- ・回遊の見える化は？ルートの紹介とかあっても良い。

(委員長)

- ・市役所は細かいデータが取れている。

(事務局)

- ・使った店舗は調べれば分かるが具体的な店舗名を出すのは難しい。資料1-4がキャンペーン期間中で通常と違う傾向があるかはみたいと思っている。

(委員長)

- ・利用しているエリアは見えると思う。チェーン店と個店で分けるとか。

◇利用者向けアンケートの設問の検討について

(事務局)

- ・なとりコインプレミアム購入者2,000名を抽出。オンラインはxID、紙カードは郵送。12月以降に2週間程度実施。オンライン回答のみ、なとりコイン100円分を進呈。

- ・設問は購入方法、用途、満足度、次回の購入意向など

(委員長)

- ・利用者の属性を聞きながら、オンラインとハガキそれぞれの良かった点や利用状況、用途、決済手順の満足度などを確認したい。

(委員)

- ・意図としては全部オンラインにしたい？

(委員長)

- ・ハガキで申請した理由が聞けると良い。スマホがないとか。不安があるとか。

(委員)

- ・ どうしたらオンラインにしてくれるか聞くとか。
(委員長)
- ・ ハガキの人だけ質問が増えるのはよくない。次回の申込みをハガキにした理由を深掘りするか。
(委員)
- ・ 次回オンラインしかななくても買うかを聞くか。買いたくない場合に理由を聞くか。
(委員長)
- ・ そういうやり方はあると思う。自由記述は必須？
(事務局)
- ・ 必須です。
(委員長)
- ・ 購入金額を聞くかは悩んでいる。家族構成でも変わるか、、、このままだと世代くらいしかない。もう一つくらい考えてクロス集計できればいいと思う。アンケート項目はいつまで？
(事務局)
- ・ アンケートの実施は12月の早い時期にと考えている。
(副委員長)
- ・ 3の事業に対する満足度の最後の設問は「利用しづらい」ではなく「利用しやすい」にした方がいい。
(委員)
- ・ ここだけ「ですます調」なので合わせた方がよい。
(委員長)
- ・ 11月なかぐらいまでは検討可能？
(事務局)
- ・ 返信用封筒の印刷が必要だが、次回の委員会です承もらっても出来ると思う。
(委員長)
- ・ 今日来ていない委員にメールで確認を依頼しておいて次回で確定させる。
(委員)
- ・ キャンペーン対象店舗一覧の出し方だが、みんなが分かる店舗に集中してしまうのでは？行ったことがない店に誘導できるようにリンクを張って紹介するとか。
(委員長)
- ・ 商工会のHPでの公開がベースになると思うが、ナトぼたと連動する？
(事務局)
- ・ ナトぼたとの連携は考えていない。QRコードを載せて店舗情報が見えるようにとは考えている。
(委員)
- ・ 市の媒体での広告になってしまう？
(委員長)
- ・ 共創ラボで作ってもよい。Googleマップにピン止めするとか。他のところではチラシや冊子を作ってキャンペーンしているところもある。今回は予算も時間もないが。まちづくり会社を使うとか。
(事務局)
- ・ 商工会や観光物産協会と相談しながらやればと思う。
(委員)
- ・ 一覧をPDFで出されても困る。テキストがコピー出来ればよい。
(委員長)
- ・ HPにベタ打ちしてリンク飛ばせるようにするか。商工会と相談しながら。

11. 次回のスケジュール

(事務局)

- ・ 第4回は11/28(金)10:00から西棟2階会議室。

- ・第5回は1/30（金）から1/29（木）に変更した。

12. 閉 会